

# YWVOB 会 会報 No.69

横浜国立大学ワンダーフォーゲル部 OB 会

<http://ywvob.com/>

2018 年 8 月 19 日発行

## ～ 69号の目次 ～

- |                                     |                             |
|-------------------------------------|-----------------------------|
| ・YWV OB 会長ご挨拶・・・・・・・・・・1            | ・第52回OB山行(楡形山)報告・・・・・・・・10  |
| ・2019 年度 OB 総会案内・・・・・・・・・・2         | ・第53回OB山行(谷川岳)案内・・・・・・・・11  |
| ・苗名小屋建設50周年記念行事案内・・・3               | ・苗名小屋便り・・・・・・・・・・・・・12      |
| ・苗名小屋建設50周年記念山行案内・・・4               | ・現役夏合宿壮行会報告・・・・・・・・・・14     |
| ・データマイニング!<br>幻の苗名小屋再建計画など・・・・・・・・5 | ・自由投稿(故中村義勝君を悼む)・・・・・・14    |
| ・2018 年第2回役員会報告・・・・・・・・・・8          | ・OB 会費納入のお願い・・・・・・・・・・・・・15 |
| ・2018 年第3回役員会報告・・・・・・・・・・9          | ・現役部員の活動紹介・・・・・・・・・・・・・16   |
|                                     | ・観天望記(編集委員会から)・・・・・・・・・・18  |

## ■ YWVOB 会長ご挨拶

会長 西田雅典(20期)

FIFA ワールドカップの開催期間に重なるように、6月に震度6弱の大阪北部地震、7月に入って豪雨による大災害が起きました。災害で犠牲になられた方々のご冥福をお祈りし、被害に遭われた方々には心よりお見舞い申し上げます。さらに直後から酷暑が続き、被災地での復興作業も困難を極め、頭の下がるボランティアの方々の支援活動も熱中症回避のため、午前中で終了せざるを得ないなど大変な状況が続いています。少しでも早い復興が望まれます。東日本大震災時には壊滅的被害を目の当たりにして早期復興への協力としてワンゲルOB会で寄付を実施しました。

7月初旬時点ではラニーニャ現象(暑夏、寒冬)の判定を気象庁はしていませんが、これだけの酷暑が続くと、冬は極寒、豪雪になる可能性も否定できません。

我々ワンゲル人は先輩から非常食、非常米、リーダー非常水、医療水、山行前の審査会におけるエスケープルートの確認など非常・・・を常に教えられてきました。

あらためて、原点に戻って、日頃から天災に備え真剣に危機対応をしておきたいものです。



## 2019年度 YWVOB 総会招集ご通知

会長 西田雅典

日時：2018年9月29日(土) 14:00～15:00

場所：横浜国大 常盤台キャンパス (教育文化ホール中会議室)

議案：活動報告・決算報告・予算案・会員入退会等現況報告・役員改選等

2019年度のYWOB総会は2018年9月29日(土)の横国Day(従来のホームカミングデー(HCD)を名称変更)と同日開催になります。昨年に引き続きワングル企画展は行いませんが、横国Day実行委員会にご高配いただき、総会終了後横国Dayの交流会(今年は第一食堂)には参加し易い時間帯をとらせていただきましたので、多数の皆様に参加いただけるようよろしくお願いいたします。総会は14時～15時とし、ワングル企画展がない分、ビデオ、スライド上映等山行報告、活動報告の時間を長く取ります。

横国DayのURLはこちら ↓

[http://www.ynu.ac.jp/about/project/yokokokuday/h\\_30.html](http://www.ynu.ac.jp/about/project/yokokokuday/h_30.html)

交流会は今後横国Dayホームページに掲載される予定の解説または各同窓会のご案内に従って各自お申込みください。校友会の会員証をお持ちの方は当日受付で会員証を提示するだけでよく、事前の申し込みは不要です。OB総会と交流会の両方に参加する人にはOB会から現金での補助がある予定です。

OB総会参加手続き及び近況調査をメールで配信しますので返信をお願いします。メールアドレスを登録されていない方には、名簿調査を兼ねた返信ハガキをこの会報に同封しますので、葉書にて返信をお願いいたします。OB総会はOB会を構成する過半数の期から1名以上出席(委任状でも可)することによって成立します。期別幹事とも連絡を取り合い、各期極力ご参加いただけるようご協力よろしくお願いいたします。



## ■ 苗名小屋建設 50 周年記念行事案内

OB 小屋委員長 榎本吉夫 (12 期)

本年 10 月 6 日 (土) ~ 8 日 (月) の 3 連休に、苗名小屋建設 50 周年を記念して次の行事を実施いたします。

1. 記念山行 (10 月 7 日 日曜日)
2. 式典 & 懇親会 (同日夜)

記念山行は、小屋より妙高山登山、式典 & 懇親会は小屋バックヤードにてファイヤーを囲んで行います。2008 年の 40 周年時にも、同様な記念行事を行い 50 名近くの参加をいただきましたが、50 年の節目の今回も、OB 各位の奮っての参加をお願いいたします。

**<行事スケジュール>** は以下の通りです。

10 月 6 日 (土) : 行事準備日、記念山行参加者は夜までに小屋入りしてください。(交通手段は後述します)  
尚、準備関係者は 5 日金曜夜に小屋入り予定です。

10 月 7 日 (日) : 小屋より早朝に妙高山登山出発 (詳細は、次ページの苗名小屋建設 50 周年記念山行案内を参照願います)。

夜 18 時 (予定) より小屋バックヤードにて、式典 & 懇親会開催。

山行に参加されない方には、笹ヶ峰散策等の別プログラムを用意いたします。

また、式典 & 懇親会のみ参加の方は、夕方までに小屋入り願います。

10 月 8 日 (月) : 小屋での朝食後、解散とします。同日、希望の方には笹ヶ峰散策等のプログラムを用意します。参加費用関連では、小屋での宿泊・食事 (懇親会含む) は無料とします。小屋までの交通費、小屋以外の宿泊費 (希望の方には杉野沢の宿を用意します) は、自己負担をお願いいたします。なお、現役の参加に対しては、交通費の補助を行います。

**<交通手段について>**

40 周年時と同様に、参加 OB 各位の車に分散同乗での小屋入りを基本とします。勿論、公共交通利用での参加も歓迎いたします。OB 各位の車提供の状況が確定いたしましたら、小屋入り予定に合わせて同乗者の調整を行いますので、ご協力をお願いいたします。なお、交通費は車毎に同乗者で精算願います。車種にも寄りますが、4 人乗車で高速代・ガソリン代は、1 人往復 5~6 千円程度になると思います。

公共交通利用では、妙高高原駅から笹ヶ峰へのバス便がありますが、この時期は、妙高高原発 7:20、9:35、13:55 の 3 本です。料金は、五八木まで 700 円、終点笹ヶ峰までは 1,000 円です。小屋の位置は、五八木~仙人池間になりますが、自由乗降区間なので、バスの運転手に言えば小屋の前で乗り降りできます。ただし、笹ヶ峰までの料金になりますので、五八木で降りて歩けばやや安くなります。13:55 発のバスに合わせた東京よりの経路は、東京発 11:04 あさま 609 号 長野着 12:48 / しなの鉄道長野発 13:00 妙高高原着 13:43 です。料金は、新幹線自由席で片道計 8,510 円です。なお、新宿、池袋を 7~8 時発の長野駅行きの高速バスでも間に合うようです。料金は片道計約 5 千円です。(帰りのバスは、五八木発 8:41、11:51、16:21 です)

**<小屋泊について>**

小屋の寝具は、この季節ですと 20 人分程度です。あまりきれいとは言えないので、気にする方はシーツカイナースユラフの持参がベターです。また、人数が増える場合を考えると、もしお持ちならシュラフ持参がベストと思います。

**<参加申し込みについて>**

前々号 (67 号) 及びその後のメルマガで、参加アンケートをいたしました結果、現在 30 名近い方から参加の表明があります。本会報発送後の 8 月下旬に、メルマガ配布アドレス登録者の方々には、参加表明されている方も含めて、記念山行も含めた参加確認のメールを配信させていただきますので、参加される方は、その書式に基づいて返信をお願いいたします。また、メールアドレスを登録されていないの方々には、本会報に参加確認の返信用はがきを同封しておりますので、『切手を貼って』返信をお願いいたします。いずれも、8 月末厳守でご返事をいただきたいと思います。

紅葉の真っ盛りの季節です。懐かしい苗名小屋で楽しい時間を過ごしましょう！皆さまの参加をお待ちしております。

## ■ 苗名小屋建設 50 周年記念山行案内 妙高山

OB山行委員長 山口貢三（18期）

苗名小屋建設 50 周年を記念し妙高山に登ります。2007 年 YWV 創立 50 周年記念の節目の年には燕温泉から山頂を踏み、新赤倉温泉に下山しました。今回は山小屋から登ろうとの声上がり、以下のような計画を立てました。皆さんの参加をお待ちしています。



妙高山頂から火打山、焼岳を望む



2007年10月13日  
YWV創立50周年記念山行

【日 時】 2018年10月7日（日）

【行き先】 妙高山（2454m）

【集 合】 10月6日 苗名小屋に前泊

【コース】 苗名小屋 5:40～林道～8:45 大谷ヒュッテ～11:25 妙高山（昼食）12:00  
～14:30 大谷ヒュッテ～15:40 山頂駅～16:00 スカイケーブル山麓駅～〔車〕  
～苗名の湯（入浴）～〔車〕～17:20 苗名小屋  
〔標高差〕1215m 〔歩行距離〕13.7km 〔歩行時間〕 7時間50分  
体 ★★ 技 ★ 危 ★

【持ち物】 雨具、水、日帰りハイキング用具、入浴セット

【注 意】 スカイケーブル往復利用の妙高山登山はケーブル営業時間（8時～16時30分）内に下山できないリスクがありますので、行きは小屋から出発し林道を歩き大谷ヒュッテに向かいます。帰りの足として車は前日にスカイケーブル山麓駅駐車場に回送する予定です。

【参 加】 10月6日山小屋前泊の方に限らせていただきます。



## ■ データマイニング！ 幻の苗名小屋再建計画など

部史編纂委員 嘉納秀明（1期）

### 苗名小屋建設 50 周年にちなんで、昔の資料のご紹介

山小屋が出来て 50 年、よくも風雪に耐えてきたものです。屋根の上に巨象 3 頭乗っている、そんな恐ろしい画像メールが流れた豪雪の年もあの細い 4 本の柱は持ちこたえました。昭和レトロの人の憂鬱な香りもトイレ改修で無くなり、土台の根太が菌で腐食して食パンのようにふかふかになっていたのも土台改修でしっかりしました。雪囲い、除雪、除草、トイレくみ出し、怠り無く小屋を守る人たちと笹ヶ峰地区最古となった小屋にオマージュを捧げます。

部史資料館には山小屋関係の資料もかなり保管されており、山小屋資料室を作って会員に公開しております。詳しくは、こちらをご覧くださいなのですが、今回は、資料の中から掘り出しました、いくつかのトピックスを紹介したいと思います。まず、建設後 15 年の 1982 年に現れた山小屋再建準備委員会の発足趣旨を伝える文書、その表紙は小屋周辺に咲くミズバショウのお化けの図です。

第一次苗名小屋再建準備委員会の  
発足にあたって。と小屋の歴史。



その目次は、以下のようです。

1. はじめに・・・小屋再建の必要性について
2. 発足月日
3. 山小屋再建準備委員会構成
4. 委員会の活動内容
5. 資金の積み立てが必要な理由
6. 委員会の解散および引き継ぎ、苗名小屋の歴史
7. 機運の高まり
8. 山小屋建設準備委員会
9. 山小屋建設委員会
10. 建設その後

小屋再建の必要性についての部分を抄録してみましょう。

「妙高苗名小屋が建てられてからはや 15 年の歳月が過ぎました。この間ワングルの人も変わりそしてワングル自体の活動も、その時代に応じて様々な変化をしてきました。その変化の波の中であって、苗名小屋はいつの時代も心暖かくワングルの仲間

たちをつつみこみ、郷愁へと駆り立てて自然をさまよう我々ワンダラーの第二のふるさととしてその機能を十分に発揮してきました。（中略）ところが、その苦勞の結晶とも言える芸術品のような美しいおらが苗名小屋も妙高のきびしい冬にいたぶられ、15 才という若さにもかかわらず、最近故障が目立つようになってきました。

あの妙高の豪雪地帯に世話人もいず 1 人ぼつんと残されていることを考えると、致し方ないと思います。苗名小屋も自然の理としていつかは老朽化し破壊されてしまうんです。しかし、ワングルのシンボルである苗名小屋を形は変わろうとも私たちは後代へと伝えていかなければならないということです。（中略）再建委がこれからしようとしていることは、建て替えのための資金の積み立てをしようとしているということです。不確実性の時代といわれる現代において、10 年先、20 年先のことを考えるのは無駄であるというかもしれないが、先がどうなるかわからないからこそ、今からコツコツと資金をためるのが賢明な方法であると思います。そのように我々は考え、その義務を感じ、山小屋再建のための長期展望に立った計画を推し進めていこうと考えているのです。再建委の苦勞も先達たちの苦勞に比べて砂漠の中の砂粒ほどでしょうが、それでもワングル部員全員の協力が無ければできません。そこのところをよくふまえて山小屋再建および再建資金の積み立てについて十分に考えて下さい。皆様のご協力を期待します」

発足月日:昭和57年7月7日、24期執行部において承認。 委員長 木宮聖至、副委員長 北澤浩一

今の状況を見て、日々のメンテこそが正解であったことが分かりますが、この文の言っていることが大切になる日が近づいていることも確かでしょう。この再建計画のその後については資料がなく、分かっておりません。どなたかご存知の方は、部史編纂委員会までお知らせください。

もう一つ、1968年の山小屋落成式当日の裏方を務められた高橋さんの手記を紹介します。

## 山小屋落成式顛末記

11期 高橋秀雄

妙高に山小屋が建つと聞いたのは2年になってからでした。妙高がどこにあるのかも分からず、落成式の案内には長野県中頸城郡と書いてしまった。秋も深まり、完成も間近になって落成式の計画を2年が立てる事になった。案内状、記念品などは横浜で用意できた。印刷屋に案内状を頼んだり、伊勢佐木町の野沢屋で灰皿に「横浜国立大学ワンダーフォーゲル部山小屋落成記念」と文字を書いてもらったりした。あとで五八木荘に誇らしげに置かれているのを見てうれしかった。また出来るだけ多勢出席できるように団体割引を手配した。学生団体は5割引で、他の学割の消化数には入らないので行こうという気になった人が多かった。しかし最低50名で同一行動を取る必要があった。後で、なかなか代金を払わないものをなだめすかすのも大変だった。現地では、落成式のとき使う椅子や天幕また昼食に出す弁当や他の食事の準備などこまごましたことがあった。椅子は岡田氏が教育委員をしていたおかげで杉野沢の小学校の子供用の椅子を借りた。そのため、小さく座り心地は悪かったと思う。後で、返すとき椅子を洗ったり大変だった。弁当は妙高高原の駅弁の笹寿司を注文した。そのほかに、ビール、酒、おでんなども準備した。式の最中、炊き出しの煙がただよって苦情がでた。前日になって、妙高の町長や田中教授も来るということで、式次第などや進行は3年が取り仕切ることになった。

落成式といっても、2階は半分未完成で手すりもない。しかも設計と施工の間違いか、予定より大きなものになっていた。屋根から伸びる筋交は最初の位置から1メートルも遠くになって、取り付けてから後でコンクリート部分を作った。それでも、自分たちの山小屋ということで、横浜から少し遠いが、うれしかった。式のあと、手作りのベンチに座り仲間と酒を飲み大声で何やら歌っていたら、岡田氏もうれしそうに民謡を歌ってくれた。気分が良く、みなでひっくり返り転がった。

## 小屋日記

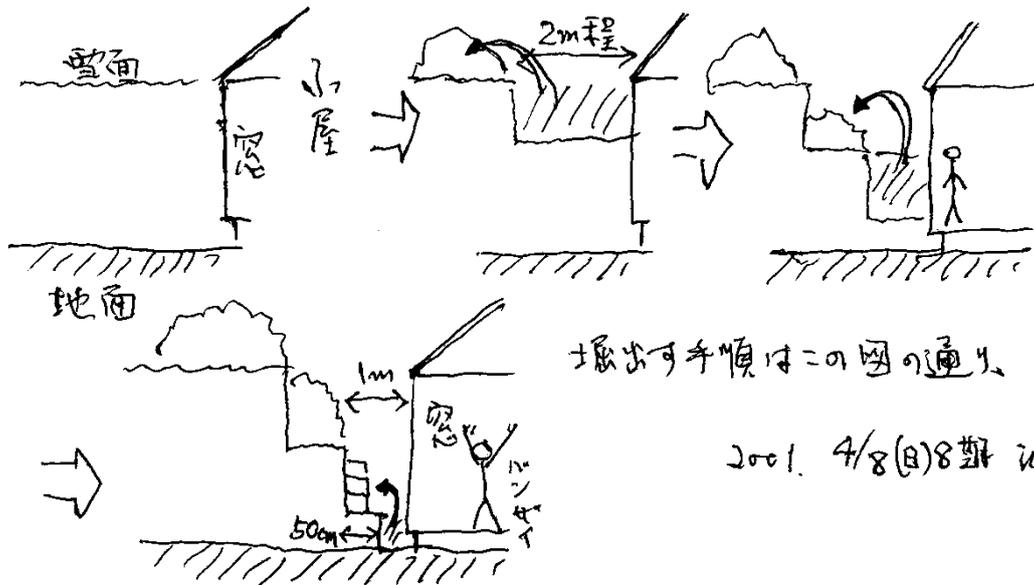
小屋日記は苗名小屋の落成式が行われた昭和43年10月27日に、落成式の記録から書き始められたノートを始めの第一冊として、年々書きためられ、小屋来訪者の時々の思いがつつづられて、大量のノートに蓄積されて、小屋の段ボール箱に保存されてきました。6期・菅谷氏はつとにその電子化に努められ、No.1~No.19まで完成され、28期・楠本氏も精力的に取り組みNo.20~No.24までを完成されました。さらに9期鈴木氏がNo.25を完成されました。これで平成7年9月13日までがそろい、34期の小野さんが絵まで詳細に復元され、No.27を完成され、平成16年2月21日までできました。ただし、No.2のノートは早い時期に紛失しこれだけが欠落しています。文書化に尽力されたお方々に感謝します。これらは、PDF化して小屋資料室にそろっています。

その一部を紹介しましょう。小屋を愛してやまなかった8期故池原さんと2期吉野さんの文です。

平成13年4月8日(日)

柏崎に来て2ヶ月、ようやく落ち着いてきたこともあり今回の雪下ろしに参加。8期から39期まで親子程の年令差もある6人のパーティー、私がどこまで手伝いできるか体力的に心配であったが柱を一本掘り出すことができて一応の分担はやりとげることができたとホッとしている。それにしても伊藤君の雪掘りには感心した。窓側の3~4mの雪を一人で掘り出した。

掘出す手順はこの図の通り。

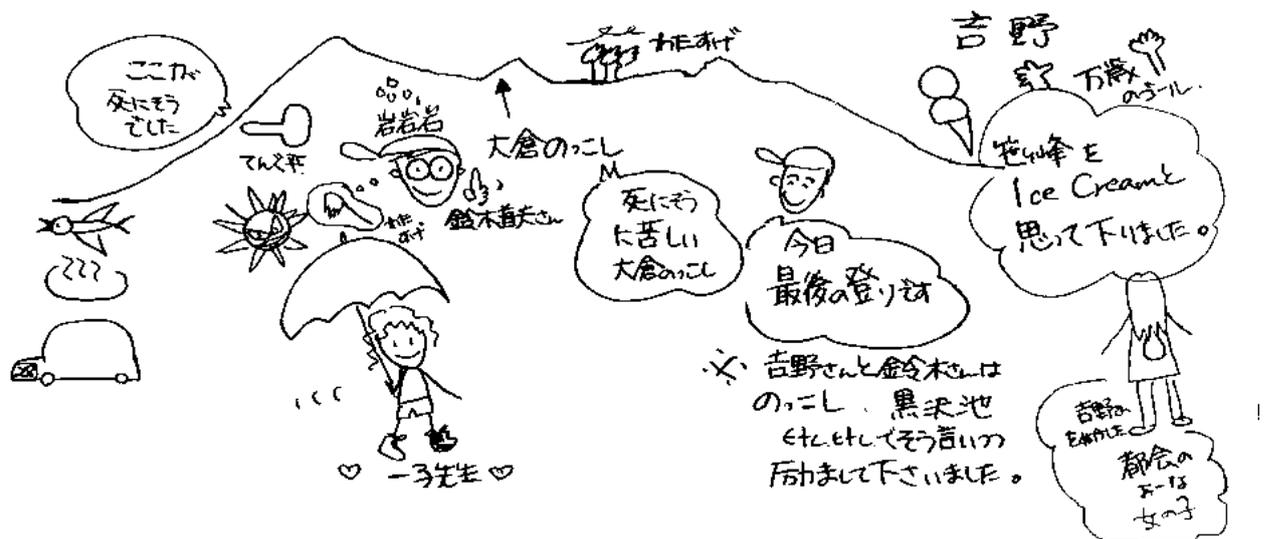


掘出す手順はこの図の通り、

2001. 4/8(日)8郡 池原

平成 14 年 7 月 28 日 (日)

晴 頂上はガスで展望なし。3人で妙高登ってきました。いや立派な山ですね。女性2名は初めてなので、一番楽そうな燕温泉から登りました。昨日の谷川よりぐんと空いていましたが、何ととっても妙高山です。登り4時間10分ほどかかりました。長助池まわりで燕温泉に戻る予定で、急な下りを30分ほど歩いたところで14期鈴木さんの出迎えを受けました。わたすげの群落を是非見なさいとのことで黒沢湿原経由で笹ヶ峰へ下ることになりました。16:54 笹ヶ峰、鈴木さんの車で燕温泉に送ってもらいました。9時間半のロングコース 実に充実した山行でした。女性2名もよく歩きました。満足のご様子です。吉野



YWW 歴史資料館の山小屋資料室には、文書資料の他に、写真、動画も保存され、笹倉さん作成の小屋の四季を眺めるスライドショーも見られます。また、お手持ちの資料をアップロードするコーナーもあります。是非訪問してください。

## ■ 2018年 第2回役員会報告

幹事長 白木政隆 (21期)

2018年4月21日(土) 14:00 からカルッツかわさきにて第2回役員会が開催された。

【出席】 嘉納(1)、吉野(2)、鈴木(9)、榎本(12)、山川(12)、白須(17)、山下(17)、小浜(17)、山口(18)、磯尾(19)、西田(20)、白木(21)、吉田(23)、木村(23)、池野(27)、松本(29)、小野(34)、親跡(34)  
〈現役〉 長島(60) 計 19人

### 【議事録】

#### 1. 挨拶

西田会長

- ・横国 DAY が 9/29 に実施と決定した。OB 山行とも重なっており、総会日程と合わせて後で検討したい。

#### 2. 委員会報告事項

##### ① 総務委員会

名簿に関する仕組みについては、前回からの継続課題として後ほど全体討議事項として取り上げる。  
メルマガについては定期的な発行を継続している。

##### ② 編集委員会

4/15 に No. 68 会報発送。次回会報は 9 月なので次回 7 月の役員会で内容説明する。

##### ③ OB 山行委員会

現時点での参加希望者は 22 名。車が必要な山行の為、車で来られる方の参加をお願いしたい。

##### ④ 部史編纂委員会

パワポによる説明

→3 つの方針 (①情報自動アップシステム構築 ②現役との密なコミュニケーション ③活動の仕方改革の推進)

##### ⑤ HP 委員会

XOOPS から最も人気の高い WordPress への HP のシステムの移行を検討中。

同一サーバでの管理は難しいため、OB 会で新たにサーバをレンタルして移植をする案を検討したい。

#### 3. 全体討議事項

##### ① 9/29 (土) 横国 DAY 開催決定に対する対応の件

全体スケジュールを確認した上で、役員会メール等で連絡を取り合い、総会日程を決定する。  
大学側の決定内容によっては、必ずしも横国 DAY に大学で実施しないことも検討。

##### ② 卒業生基金対応 (今後の進め方について)

クラブ活動や、その卒業生に対する対応が不透明なため、当面 OB 会としての寄付は見送る。

##### ③ 50 周年山小屋企画の件

日程は 10/6-8 で決定。現役・OB 以外の参加者については今後検討していく。

40 周年は 47 名参加で 14 台の車が出ており、広く車での参加を呼び掛けたい。

##### ④ 現役の連絡の仕組みと内容紹介

Twitter を活用してイベントを計画中 (4/9 新歓食事会、4/22 BBQ、高尾山、矢倉岳山行を GW に企画)

#### 4. 現役報告

2/10-11 雪下ろし、3 月下旬部室大掃除、5/27 新練 奥多摩御岳、6/9-10 鳳凰三山、7/7 箱根、8/5-9 北海道

#### 5. 次回役員会実施予定

2018 年 7 月 21 日 (土) 14 時 ~ 16 時 30 分 カルッツかわさき

## ■ 2018年 第3回役員会報告

幹事長 白木政隆 (21期)

2018年7月21日(土) 13:00からカルッツかわさきにて第3回役員会が開催された。

【出席】 嘉納(1)、吉野(2)、吉村(3)、鈴木(9)、安藤(11)、榎本(12)、山川(12)、白須(17)、木村(17)、小浜(17)、山口(18)、堀内(18)、磯尾(19)、西田(20)、石垣(20)、白木(21)、木村(23)、古川(25)、池野(27)、楠本(28)、松本(29)、親跡(34)  
<現役> 長島(60)、林(61) 計24人

### 【議事録】

#### 1. 会長挨拶

・7/11 現役9名と壮行会実施。今後も現役との交流は継続・強化していきたい。

#### 2. 委員会報告事項

・会報第69号の締め切り直前でもあり、その資料を中心に報告実施(詳細略)  
・部史編纂委員会から、現役の山行記録等を公開するインフラについて、今後詰めていくとの報告があった。

#### 3. 全体討議事項

##### ①9/29 総会について

・横浜国大教育文化ホール中会議室にて14:00～15:00に実施。横国DAYの詳細計画はまだ公表されていない。  
・次回の役員会に詳細内容を決定する。

##### ②50周年山小屋企画の件

・大まかな予算案検討、今期小屋予算から10万円、特別準備金から20万円程度使用することを討議(記念品製作費含む)して、議決された。  
・詳細は会報発行後、参加数が確定する9月に決定する。



榎本OB小屋委員長

#### 4. 現役報告

・新歓から壮行会までの活動の説明を受ける。テント等の備品購入費6.7万円についてOB会協賛とすることを議決。

#### 5. その他

・一時帰国された安藤さんからモロッコ報告を伺う。

#### 6. 次回役員会実施予定

2018年9月15日(土) 14時～16時30分

中原市民館 第2会議室

(川崎市中原区新丸子東3丁目1100番地12 パークシティ武蔵小杉ミッドスカイトワー  
JR武蔵小杉駅徒歩3分)



<現役> (左) 林部員 (右) 長島主将

## ■ 第52回 OB山行（櫛形山）報告

OB山行委員長 山口貢三（18期）

〔日 時〕 2018年5月19日（土）

〔参加者〕 吉野(2)、諸角夫妻(5)、早坂(8)、佐木(8)、鈴木(9)、岩崎(12)、山川(12)、榎本(12)、竹村(13)、小口(14)、狩野(14)、中島(15)、白須(17)、山口幸(18)、岡田(18)、壺井(18)、山口貢(18)、石井啓(19)※、磯尾(19)、西田(20)、石垣(20)、村松(21)、白木夫妻(21)、池野(27)、親跡(34)、小野(34) 28名 ※初参加1名

〔実 働〕 池の茶屋登山口（1865m）11:00～12:00 櫛形山（2052m）～13:15 裸山～櫛形山～  
15:40 池の茶屋登山口 〔歩行距離 9.3km〕 体 ★ 技 ★ 危 ★

〔山行記〕 昨日までの雨予報が好転し、真夏日となっていました。麓から車で1時間以上かけて着いた登山口を出発し、見通しの良い尾根を経て、櫛形山山頂で昼食をとり裸山へと向かいました。裸山にいたる山頂部は登り下りが少なく、巨木と天然カラマツの森を気持ちよく散策できました。所々に牧場のように刈られた草原が点在しているのは、どうやら鹿の食事跡とか。しかしアヤメまで食べてしまうのは困ったものです。裸山山頂部の保護区域では既にアヤメの若葉が繁殖中とその見事な群落が早く蘇ることを祈るばかりです。



アヤメはまだ保護育成中



巨木とカラマツの明るい山頂部を散策



池の茶屋から櫛形山への登り



裸山山頂にて：櫛形山越しに富士山が大きく見えました

裸山では残雪の白根三山がその雄姿を存分に見せつけてくれました。三千m峰はさすがに大迫力です。振り返れば富士山の頂上が最高峰の威厳で我々を見つめているではありませんか。富士様（山）はやはり別格の存在ですね。日本のトップスターともいえる山々に雨上がりの澄んだ空気と5月の残雪が一層の迫力を添えた、贅沢な展望に出会えた山旅となりました。



裸山山頂にて： 間ノ岳、北岳をバックに （34期 親跡さん撮影）

## 第53回 OB山行（谷川岳）案内

OB山行委員長 山口貢三（18期）

夜の上野のプラットホーム～♪ と言えば谷川岳ですね。（これがわかるのは何期まででしょうか）上越国境にあるこの山は、歌になるくらい岳人の憧れでした。夜行列車に乗り土合駅に着き地下ホームから地上まで81m、462段もの階段を登ったよ、というのは今では遠い昔話になりました。1985年上越新幹線と関越道の全線開通以来、新幹線、バス、またはマイカーとロープウェイを利用すれば日帰りの可能な山になりました。

とはいえ谷川岳の岩、沢、縦走は今でも上級者向けであることに変わりありません。そんな中で天神平からの日帰りコースは誰でも楽しめるので、人気のコースです。登ることに意義があり、頂上での達成感を存分に味わいましょう。初めての方も大歓迎です。

皆さんの参加をお待ちしています。



天神平方面から見て奥がオキノ耳、トマノ耳  
（もちろん雪はありません）

【日 時】 2018年9月8日（土）

【行き先】 谷川岳（1977m）

【集 合】 谷川岳ロープウェイ駅 9:20

【交通の案内】 新幹線たにがわ401号 東京駅6時36分発 上野6時42分発 大宮7時02分発  
7:34高崎乗換 7:45=JR上越線⇒8:50水上 9:00=路線バス⇒9:20谷川ロープウェイ駅  
東京以西の方はJR休日おでかけバス+JR切符（本庄早稲田～水上）がお得です。新幹線は大宮から乗るのがお得です。

【コース】 天神平 10:15→12:45 谷川岳肩の小屋（オキノ耳往復35分） 13:20→15:20 天神平  
〔標高差〕667m 〔歩行距離〕7km 〔歩行時間〕4時間40分

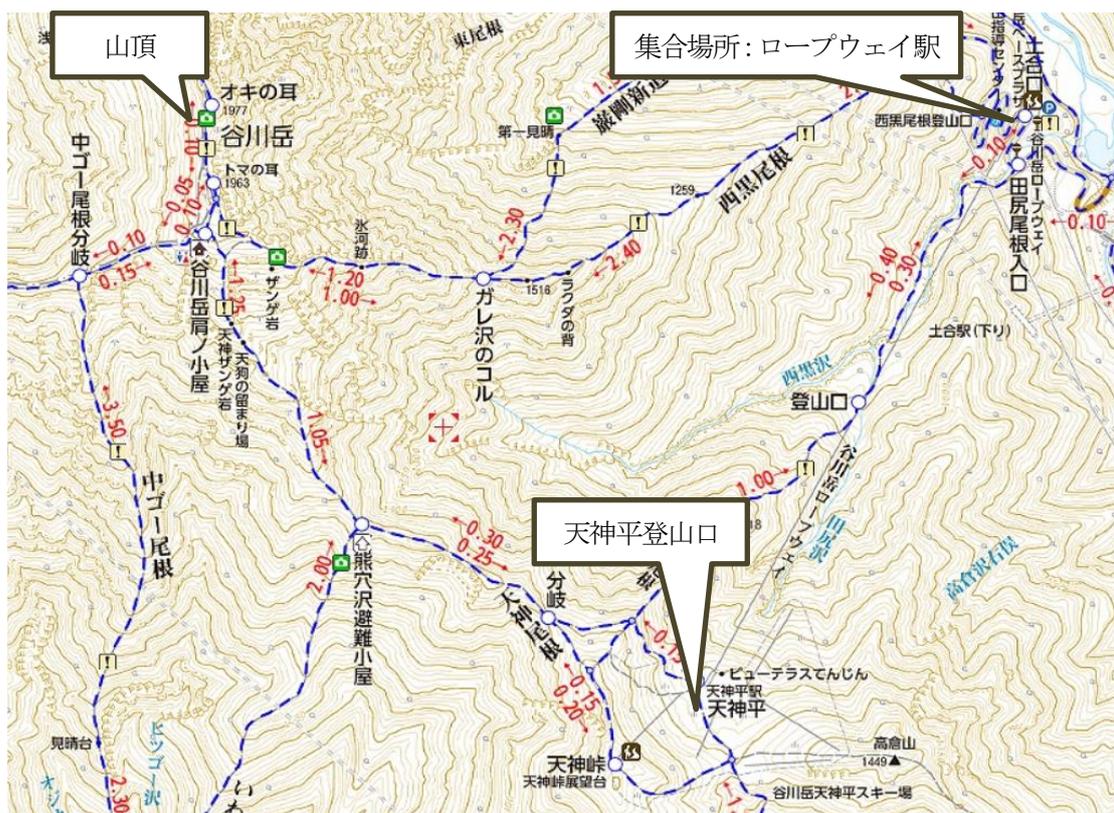
体★★ 技★ 危★

帰りのバスは谷川岳ロープウェイ駅を16:10発、水上駅16:33、上毛高原駅は16:47に到着します。

【費 用】 JR（大宮～高崎間 往復新幹線、休日バス利用）9千円、バス1.6千円、ロープウェイ2千円  
山行費 500円

【持ち物】 雨具、昼食等 日帰りハイキング用具

【申し込み先】 8月31日までにOB山行委員会にメールでご連絡ください。メール：sanko-ywvob@ywvob.com



## ■ 苗名小屋便り

OB小屋委員長 榎本吉夫（12期）



5月 僅かな残雪の苗名小屋、人影の先に山桜が満開！

5月の連休は、後半の3日（木）～5日（土）に現役7名（3年南原さん、秋山さん、志尾さん、長島さん、片尾さん、2年林さん、1年大谷さん）が、29期松本・30期笹倉両氏の車に乗って3日夜発で小屋入りしました。また54期谷口さん、榎本が各々自転車で小屋入りし、計11名が連休の小屋で過ごしました。一昨年の少雪ほどではありませんが、小屋の北面とバックヤードに残雪がちょっと残っている程度でした。フキノトウが小屋周辺では目立って生えていました。

現役諸君には、雪囲い外しと井戸水道の開通作業にトライしてもらいました。井戸は、まずポンプの始動に難航、最後は笹倉プロの参加でようやく通水しました。天気は何とか持ちましたので、笹倉さん

は草刈り、現役はチェーンソーや斧でまき作り作業や笹ヶ峰散策で春の小屋を楽しんだ？ようです。榎本以外は、連休渋滞を避けて、5日の夕方に下山しました。榎本は、土曜午後、杉野沢の岡田さん宅を訪問し、秋の記念行事の件を説明しました。今年は、例年より季節が2週間早いそうです。榎本は6日（日）早朝に下山しましたが、帰り支度中に14期小口さんが来られ、笹ヶ峰を散策して帰るとのことでした。



青空に映える山桜  
（水芭蕉が咲く池の上）



5月 水芭蕉が咲く

6月2日（土）、3日（日）に、小屋行事『山菜採り』を行いました。参加者、5期諸角夫妻、高須さん、小口さん、松本さん、榎本の6名でした。1日（金）の夜19時に、環八上野毛で諸角夫妻、高須さんを榎本車でピックアップして23時過ぎに小屋入りしました。小口さんは土曜朝に、松本さんは早朝発、途中食糧を買出して11時頃に小屋入りしました。ここ数年小屋行事には雨がつきものでしたが、参加者の日頃の行いが良いため！今回は珍しく土日両日も晴天に恵まれ、仕事？！もはかどりました。山菜は、雪が少なく季節が半月ほど早く進んでおり、山菜プロの諸角夫妻、高須さんに、ワラビとタケノコを何とか採ってきてもらい、食事に饗しました。小口さん、松本さんが上がってくる時に、スキー場沿いの林道脇には、数十台の車が止まっていたようで、スキー場のワラビ狙いのようでした。小屋前にも3組ほど行き来していました。

夕食は、諸角さんに持参いただいたブリの切り身の網焼きからスタートして、いつものパーベキューを楽しみました。小屋整備としては、前回笹倉さんが刈り払ったエリアの再刈り払い、林道までと駐車場の刈り払い、小屋周り、展望台経由の周遊路の刈り払いを行いました。また前に間伐したカラマツが南側エリアに放置されちょっと見苦しかったので、チェーンソーでカットしてシンボルツリーとして乾燥のため



立てかけておきました。天気にもまれた今回は、小口さんと高須さんは笹ヶ峰入口までの散策など、のんびりとした小屋を過ごし、日曜の14時過ぎに下山しました。

7月14日(土)～16日(月)の小屋行事には、現役3名(2年生の木下君、坂田君、小室さん)が笹倉車で、榎本が13日(金)夜にモロッコより一時帰国中の11期安藤さんを丸子橋でピックアップして、各々深夜に小屋入りしました。土曜早朝発で34期田村さんが午前中に、午後発で8期佐木さんが夜、それぞれ小屋入りしました。また、今回は13期竹村さんが会社(三井造船)の山の会のメンバー10名(女性3名)と、翌日の妙高山登山のため、夕方小屋入りしました。総勢19名となり、久しぶりのにぎやかな小屋になりました。現役3名は坂田君と小室さんが初小屋で、恒例のまき割、刈り払い機での草刈り、バーベキューのための火付けなどを、楽しみながら??やってもらいました。土曜の朝に気が付いたのですが、ミツバチが小屋の2か所(2階のヤード側出窓の太陽光パネル取り付け板内側上辺、倉庫の扉の内側上辺)で巣作りをしているのが判明、ハチスプレーを散布しながら落として駆除しました。6月時には全くありませんでしたので、この1か月で巣作りしたようです。スズメバチのような大型、凶暴なハチでなくてよかったです!



7月 現役2年生 坂田君、小室さん、木下君

笹倉さん、現役3人、田村さんは、入念に小屋周辺の草刈りを主に作業して、日曜午後下山しました。竹村さんグループは、日曜早朝6時に小屋を出発し、安藤さんも加わって、林道、大谷ヒュッテ経由で妙高山ピストンに行きました。連休の混雑と暑さに苦労したようですが、18時頃までに無事全員下山して来ました。夕食は、我々も加わり、14名でバーベキューを饗しました。翌月曜は、竹村さんグループが朝7時過ぎに下山、佐木さん、安藤さん、榎本は11時過ぎに下山しました。



7月 満天の星の下で、バーベキューを楽しむ!



ミツバチの巣です!

#### 今後の予定

8月 夏の小屋行事(記念行事に向けての小屋整備) お盆週間10日(金)～19日(日)に分散実施

10月 苗名小屋建設50周年記念行事 6日(土)～8日(月)

11月 小屋締め 3日(土)～4日(日)

## ■ 2018年7月11日現役夏合宿壮行会報告

幹事長 白木政隆 (21期)

2018年7月11日(土) 19:00から横浜中華街 鵬天閣にて恒例の現役夏合宿壮行会が開催されました。

当初18:30開始予定でしたが、6時限まで講義がある部員がいて20:30位になるとのことで、19:00開始としました(今時はそんなに授業するんだ…。昔その時間はほぼ麻雀半チャン2~3回以上、やりましたね(^▽^))。最近の学生は、そんなに飲まないだろうなあと思っていましたが、20歳以上の方は結構イケる口っぱく、フツーにゴクゴク飲んでおりました(ーー)。

主将の長島さんから依頼があったので、西田会長と不肖私めが、業界紹介を壮行会の前に実施。特に3年生の方はとても真剣に聴いていただきました(これも昔はなかった光景ですね(\*´▽`\*)。業界説明終了後は、いつもの壮行会に突入です。大学やら部活やらの話に花が咲き、現役9名とOB会5名のいつもの楽しい宴でした。

【写真↓】手前左より古館さん<sup>\*1</sup>、林さん<sup>\*4</sup>、坂田さん<sup>\*5</sup>、長島さん<sup>\*1</sup>、吉野さん、山口さん、片尾さん<sup>\*1</sup>  
後ろ左より秋山さん<sup>\*1</sup>、木下さん<sup>\*3</sup>、善長さん<sup>\*2</sup>、白木、西田さん、山川さん、南原さん<sup>\*1</sup>



※出席いただいた方の学部と学年  
(除くOB)

- \*1 理工 海洋 3年
- \*2 経営 会計情報 3年
- \*3 理工 化学生命 2年
- \*4 経営 経営 2年
- \*5 理工 機械 2年

(o´▽´)/☆。+。☆べ(´▽´o)

## ■ 自由投稿 故中村義勝君を悼む

羽島継男 (5期)

昨年3月に亡くなった亀井良英君に続いて、わがYW5期の仲間、中村義勝君を4月9日失いました。痛恨の極みです。氏は学業はもとより、ワングルも夏合宿などでリーダーを務めるなどアクティブメンバーの一人として活躍されていたのが、つい昨日のように思い出されます。家にあっては二人の息子さんを立派に育て上げ、職業人としては日本ピストンリング(株)で技術担当役員まで上り詰めた努力の人でした。約3年に及ぶ奥様の手厚い看病の甲斐なくこのたび天に召されました。

義勝君、われわれも遠からず君の住む町へ引っ越すことになるから、それまで健康に留意して待ってください。そして一杯やりましょう。

尚、奥様はワングル同期の旧姓須賀栄子様です。

ここに謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りいたします。享年76歳

合掌



故中村義勝君

## ■ OB会費納入のお願い

会計幹事 吉野大次郎（2期）

会計幹事 松本 和之（29期）

OB会報第69号に同封の払込取扱票は、2019年度（2018年10月～2019年9月）OB会費等をお振り込みいただく用紙です。ゆうちょ銀行の各店舗窓口・ATMからお振り込みください。

- ・年会費：2,000円（2019年度の年会費）  
払込取扱票に以下のような記載のある場合、年会費のお振り込みは**不要**です。  
寄付金、最新名簿郵送料等のお振り込みにご利用ください。

あなたは2019年度までのOB会費が納入済みです。  
今回は納入不要ですが、  
寄付、名簿代金のお振り込み  
にご利用ください。

- ・前納会費：10,000円（6年分（2019年度～2024年度）の年会費に充当）
- ・寄付金：（一般、小屋）のどちらかを○で囲んでください。
- ・最新名簿郵送料：500円（希望者のみ）

払込手数料は5万円未満の場合、窓口130円、ATM80円です。

払込取扱票を紛失した場合は、ゆうちょ銀行備え付けの払込取扱票に、下記口座番号と加入者名を記入の上お振り込みください。

口座番号：00290-3-2419

加入者名：横浜国立大学ワンダーフォーゲルOB会

### ★他の金融機関からのお振り込み

他の金融機関からお振り込みいただけます。その場合、預金種目、口座番号は下記ようになります。  
手数料は各金融機関、振り込み方式によって異なりますが、3万円未満の場合は216～648円です。

銀行名：ゆうちょ銀行（9900）

店番：029

店名：〇二九店（ゼロニキュウ店）

預金種目：当座

口座番号：0002419

カナ氏名：ヨコハマコクリツダイガクワンダーフォーゲルオービー

## ■ 現役部員の活動紹介

主将 長島拓也（60期）

春学期は新歓行事から始まり、新練1~3まで行われました！

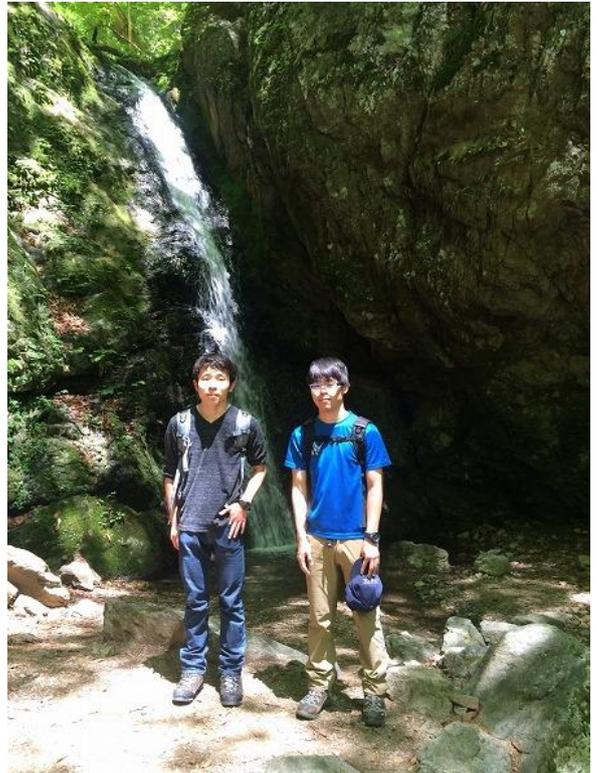
### ・新歓行事

新歓行事では食事会から始まり、BBQ や高尾山企画などが行われました！ また、今年度から新しい試みとして女性部員向けの企画も行われ、多くの新入生に入学していただくことができました！ 新入生にはこれからたくさん企画に参加して欲しいですね。



・新練 1

5/20（日）に新練 1 が奥多摩で行われました。御岳山から大岳山を通り奥多摩駅の方へ縦走していくコースでした。当日体調を崩してしまった部員もいたこともあり、2 名での参加となってしまいましたが、天気には恵まれ、登山日和となりました！



・新練 2

6/9-10 で新練 2 が南八ヶ岳で行われました。コースは美濃戸口から行者小屋まで行きテント泊をし、翌日に地蔵尾根から横岳、赤岳に登頂しました！ 雨の予報でしたが幸いなことに雨も降らず快適に行動することができました。



・新練 3

7/7-8 に鳳凰三山に行く予定でしたが、山頂付近が雨と強風の予報だったので中止となりました。

新練 1~3 も終了し、残す大きなイベントは夏合宿となりました。7/11 に O B の方々に壮行会を開いていただき、部員も美味しい中華を楽しむとともに、夏合宿に向けてのモチベーションを高めることができました。ありがとうございました！！

夏合宿は北海道の大雪山系縦走で 8/5-9 の 5 日間で行われます。

安全に気をつけて、楽しむことができます！！

平成30年7月豪雨により亡くなられた方々に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

この「観天望記」の原稿を書いているのは7月下旬ですが、東京では毎日猛暑日が続いています。「こんにちは」よりも「暑いですね」の挨拶が普通になっています。日中の最高気温が25℃以上の日を夏日、30℃以上の日を真夏日、35℃以上の日を猛暑日と言いますが、今年7月23日に熊谷で国内最高気温の更新があり41.1℃でしたので、40℃以上の日の名称ができるかもしれませんね。ところで、「暑さ指数」というものをご存知でしょうか。熱中症情報などで最近をよく見かけるようになりましたが、よく分からないので調べてみることにしましょう。ちなみに、今日の東京15時現在の暑さ指数は31.7℃で「危険」です。

環境省のホームページには暑さ指数について次のように書かれています。

暑さ指数（WBGT（湿球黒球温度）：Wet Bulb Globe Temperature）は、熱中症を予防することを目的として1954年にアメリカで提案された指標です。単位は気温と同じ摂氏度（℃）で示されますが、その値は気温とは異なります。暑さ指数（WBGT）は人体と外気との熱のやりとり（熱収支）に着目した指標で、人体の熱収支に与える影響の大きい①湿度、②日射・輻射（ふくしゃ）など周辺の熱環境、③気温の3つを取り入れた指標です。

この説明では何やら複雑な計算をして暑さ指数を算出しているようにも思えますが、実は単純でした。3つの温度の合成で、3つとは以下の通りです。

- ①湿球温度：水で湿らせたガーゼを温度計の球部に巻いて測る温度  
（湿度計の湿球の方ですが、昔、小学校の理科室にあったことを思い出しました）
- ②黒球温度：黒く塗装された銅板の玉の中心に温度計を入れて測る温度  
（日なたにおける体感温度を想定しているようです）
- ③乾球温度：通常の温度計で測る温度

暑さ指数とは①の70%、②の20%、③の10%を合成したものです。だから単位が℃なんですね。

暑さ指数の歴史も少し調べてみましょう。前述のように1954年アメリカで軍隊の訓練の際の熱中症リスクを判断するために開発されたそうです。その後、1982年にISOにより国際基準となりました。日本では日本体育協会が1994年に暑さ指数を使ってスポーツ活動中の熱中症事故予防に関する呼び掛けを始めたそうです。思ったより古いですが、よく耳にするのは最近ですよ。

我々YWOBは暑い夏は静かに過ごし、暑さが収まる秋から活動することの方が良さそうです。皆様、熱中症に注意して猛暑の夏を乗り越え、秋から始まるOB山行、苗名小屋建設50周年記念行事等でお会いしましょう。

この原稿を書いているだけで暑くなりましたが、暑さ指数31℃以上は「危険」で「特別の場合以外は運動を中止する」となっています（詳細は次ページをご覧ください）。毎日「危険」と表示が出ている最中に、復旧作業をされている7月豪雨で被災された皆様やボランティアの方々は大丈夫でしょうか。健康を害さないように気温が下がることをお祈りしております。

---

### 【 訃報 】

- ・中村義勝氏（5期）が2018年4月9日に逝去されました。  
謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

● 日常生活に関する指針

温度基準 (WBGT)	注意すべき生活活動の目安	注意事項
危険 (31°C以上)	すべての生活活動でおこる危険性	高齢者においては安静状態でも発生する危険性が大きい。外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。
嚴重警戒 (28～31°C※)		外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する。
警戒 (25～28°C※)	中等度以上の生活活動でおこる危険性	運動や激しい作業をする際は定期的に充分に休息を取り入れる。
注意 (25°C未満)	強い生活活動でおこる危険性	一般に危険性は少ないが激しい運動や重労働時には発生する危険性がある。

※ (28～31°C) 及び (25～28°C) については、それぞれ28°C以上31°C未満、25°C以上28°C未満を示します。日本気象学会「日常生活における熱中症予防指針Ver.3」(2013)より

● 運動に関する指針

気温 (参考)	暑さ指数 (WBGT)	熱中症予防運動指針	
35°C以上	31°C以上	運動は原則中止	WBGT31°C以上では、特別の場合以外は運動を中止する。特に子どもの場合は中止すべき。
31～35°C	28～31°C	嚴重警戒 (激しい運動は中止)	WBGT28°C以上では、熱中症の危険性が高いので、激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は避ける。運動する場合には、頻繁に休息をとり水分・塩分の補給を行う。体力の低い人、暑さになれていない人は運動中止。
28～31°C	25～28°C	警戒 (積極的に休息)	WBGT25°C以上では、熱中症の危険が増すので、積極的に休息をとり適宜、水分・塩分を補給する。激しい運動では、30分おきくらいに休息をとる。
24～28°C	21～25°C	注意 (積極的に水分補給)	WBGT21°C以上では、熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。熱中症の兆候に注意するとともに、運動の合間に積極的に水分・塩分を補給する。
24°C未満	21°C未満	ほぼ安全 (適宜水分補給)	WBGT21°C未満では、通常は熱中症の危険は小さいが、適宜水分・塩分の補給は必要である。市民マラソンなどではこの条件でも熱中症が発生するので注意。

(公財) 日本体育協会「スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック」(2013)より

【 裏表紙 富士山PWの写真 その① 】

1984年9月富士山PWの写真です。参加者が並んで広大な富士山をバックに撮影。日本で最大の高度差を田子の浦から山頂まで踏破。登山口まで3日間も歩きました。松本亘弘 (28期)  
(次号に続く)



富士山PW  
1984年9月

皆様からの投稿をお待ちしています。自由投稿の原稿、写真、スケッチ等を  
編集委員会にお送り下さい。メールアドレス [kaiho-ywvob@ywvob.com](mailto:kaiho-ywvob@ywvob.com)

編集にご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

### YWVOB会 会報第69号

発行： 横浜国立大学ワンダーフォーゲル部OB会  
発行日： 2018年8月19日  
発行責任者： 会長 西田雅典(20)  
編集責任者： 編集委員長 石垣秀敏(20)  
編集集： 編集副委員長 武藤功二(20)  
編集委員 成島和仁(22)、楠本なぎさ(28)  
印刷所： 株式会社プリントバック 京都府向日市森本町野田 3-1